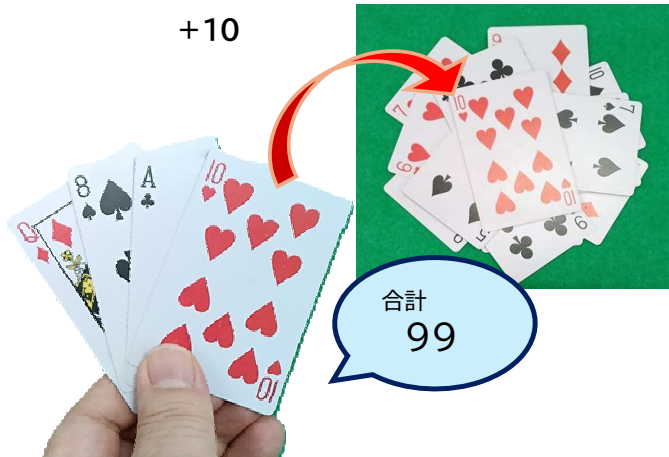


足し算99 (トランプ)



【 概要 】

- ・順番に、1枚ずつトランプを出して、全てを合計していく
- ・前の人が言った数字を覚えて、自分の出す値を足し算する
- ・合計が「99」までは構わないが、「100以上」にした1名だけが負けとなる。
- ・どの数字から出せば良いかを考えることで、計画力も鍛えます

準備

- ・ 4～6人ごとに、机を囲んで座る。
- ・ トランプ(ジョーカー2枚を含む)1組をよく混ぜ、机に置いて山札とする。

方法

- ① 各自に、手札として4枚ずつ配り、残りを山札とする。
- ② 順番に、手札から1枚出して、合計した数字を言い、山札から1枚引く。
(基本的に、手札は常に4枚)
- ③ トランプごとの数字を説明(初めの場合は、どこかに明示する)
A(1)～10の札 ⇒ 数字のとおり足し算「+1」～「+10」
J(11)・Q(12)・K(13)の札 ⇒ マイナス10(−10)の引き算
ジョーカー(ババ)の札 ⇒ 足し算「+30」として扱う

- ④ 各自が順番に1枚ずつトランプを出し、全て合計していく。
最初に、手札の何を出しても「100以上」になってしまう方が、負け

ヒント:合計が99に近くなっても困らないように、「マイナス10」となる絵札(JQK)や、小さい数字(A23)などを手札に残しておこう

チャレンジプログラム

前の順番の方が言った数字に、自分が出したいトランプを足して、合計値を暗算することに時間がかかる場合があります。
「足し算99」に慣れてきたら、代わりに合計値を答えるのではなく、前の方が言った数字をヒントに出すなど、間接的な支援で考えることを助けよう。



【 難しくする方法 】



トランプの数字に、役(効果)を追加することで、順番やトランプの出し方を変えて、より計画性を使う内容に変えます。

- 役札) 「A(1)」⇒「+1」に加え、「順番を1人飛ばす」
「2」 ⇒「+2」に加え、「次の人は、2枚合わせて出す」
「9」 ⇒「+9」に加え、「順番が逆回りになる」